

ぼくはざっそう

え・ぶん わき あゆむ



ぼくはざっそう



ぼくはきれいな花を
さかせることはできない



ざっそうなんて

なぜかきらわれることがおおいけど



そんなぼくだけど…
だれにもまけないことがある
それは



どんなにあめにうたれても



どんなにかぜがふいても





どんなにかたいばしょでも



コンクリート

いきでいける つよさがある



おしまい